TOKYO SETAGAYA LIONS CLUB NEWS

東京世田谷ライオンズクラブ ニュース

2010-2011年度　第15号　　2011年2月発行

今年度スローガン

見つめよう！未来の奉仕　深めよう L字の絆！We Serve

トピックス

◎ 次回 理事会・例会等のご案内

★２月２３日（水）於：目黒雅叙園
第１２回 理事会 １７：３０～１８：３０
第1149回 例 会 １８：３０～２０：３０

「双子例会」と銘打ち、経済産業省の進藤秀夫氏（L進藤の双子の兄）をゲストに迎え「産学官連携について」をテーマにゲストスピーチを予定しています。皆様、是非ご出席のほどよろしくお願い申しあげます。

＜アクティビティのご案内＞

★２月２６日（土）於：わんぱくｸﾗﾌﾞ駒沢
世田谷区新町１－３－３１
9:30集合 10:00－14:00

「20歳を祝う会」 協力

知的障害者の居場所を作っている団体「わんぱくクラブ育成会」の成人のグループ「ひかり」の運営に協力して、本年も「20歳を祝う会」にご協力致します。クラブ青ジャンパー着用にて集合下さいますようお願い致します。

★３月５日（土） 於：駒沢第二球技場
第９回東京世田谷ライオンズクラブカップ／少年サッカー教室
（例会振替）世田谷区駒沢公園1－1
8:30集合 9:30開会式－15:50

当クラブ最大のアクティビティです。本年も午前中はFC東京によるサッカー教室、午後はサッカー大会となります。クラブ青ジャンパー着用にて集合下さいます様お願い致します。

会長挨拶

平素よりクラブ運営へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

私は、先日、憲政会館で行われましたＬＣＩＦの勉強会及び山浦国際理事の報告会に参加させて頂きましたが、ライオンズクラブは国連に承認されている大変名誉ある団体であるということを恥ずかしながら初めて知りました。単に世界一大きな奉仕団体というだけではないのです。私のようにライオン歴の浅い若手メンバーはより深くライオンズクラブのことを知ることがライオンズライフを充実させる第一歩だと改めて感じました。

さて、去る２月１０日には子クラブである東京三軒茶屋ライオンズクラブ（以下三軒茶屋ＬＣ）のＣＮ２０周年記念式典に我がクラブは振替例会として出席させて頂きました。三軒茶屋ＬＣとはＬ山本が会長を務めた４５期より合同例会が復活し、今期からは合同アクティビティに取り組むなど親交を深めて参りました。他クラブとの親交もライオンズクラブの意義を何倍にもしてくれる重要な要素です。

ライオンズをよく知り、自クラブのメンバーだけでなく、他クラブとの親交を深めることを若手メンバーは常に心がけていなければならないと実感した半月でした。

第１１４８回例会報告　（東京三軒茶屋ＬＣＣＮ２０　例会振替）

２月１０日　　於 銀座アスター三軒茶屋賓館

出席者　桂会長、Ｌ阿部、Ｌ藤原、Ｌ福島、Ｌ石田、Ｌ石上、Ｌ磯辺、Ｌ亀川、Ｌ小塚、Ｌ宮崎大、Ｌ中村、Ｌ小野一、Ｌ小野景、Ｌ白石、Ｌ杉村、Ｌ須藤、Ｌ鈴木、Ｌ山本、Ｌ吉崎、幹事進藤　（出席者数２０名）

1　当クラブの子クラブでもあります東京三軒茶屋ＬＣ（以下、三軒茶屋ＬＣ）２０周年記念例会（第１１４８回２月第１例会）が、２月１０日（木）１８：００より、銀座アスター三軒茶屋賓館にて開催されました。当クラブからも例会振替として桂会長以下２０名が出席しました。

2　三軒茶屋ＬＣ幹事五月女仁Ｌの司会のもと、式典が開始されました。まず、国歌およびライオンズヒムの斉唱、物故ライオンに対する黙祷を行いました。

3　実行委員長　石田弥Ｌからご挨拶がありました。石田Ｌは周囲に対する思いやりや心配りが大切であると考えていること、設立２０周年記念にあたって皆様のお気持ちがまた心の泉となりさらに精進していくとお話しになり、ご挨拶とされました。

4　続いて幹事　五月女仁Ｌからご来賓の紹介がございました。世田谷区長　熊本哲之様以下一般来賓の皆様、３３０－Ａ地区河合悦子ガバナーほかキャビネットの皆様、スリランカからお越しの３０６－Ｃ１地区２Ｒ１ＺＺＣデュミンダ・コタワラＬご夫妻、３３５－Ｄ地区視力ファースト献眼推進委員長有馬勇Ｌ、３３１－Ｂ地区稚内北斗ＬＣ、３３４－Ｅ地区白馬ＬＣなどライオンズ関係の皆様をご紹介頂いた後で、例会振替となる当クラブと東京成城ＬＣの２クラブをご紹介頂きました。

5　三軒茶屋ＬＣ会長　川津義憲Ｌからご挨拶を頂きました。川津会長は、まずご参集いただいた皆様への感謝の念を述べ、次に設立当初のクラブの牽引役であった故林静寛Ｌの思い出に触れ、その後、献血や骨髄バンク、中古メガネリサイクル、さらには当クラブと合同開催の障害者施設見学ツアーなどのアクティビティをご紹介されました。

6　続いて来賓ご祝辞に移りましてお二人の祝辞を頂きました。まず、世田谷区長　熊本哲之様から、献血や中古メガネリサイクルなど国内外での活躍に対するご賞賛を頂き、２０周年を迎えられたのは歴代の会長以下役員の皆様のご尽力の賜物であるとお話し頂き

ました。そして混沌とした現在におけるこの数年の世田谷区政の現状と４月の統一地方選挙などについても触れられました。

7　次に、３３０－Ａ地区河合悦子ガバナーは今期の難病コンサートに多大な協賛を頂いたことへの謝意を述べられたあと、通常例会会場を記念式典会場としていることに触れられ、昨今周年行事が過度に華美になりがちな風潮の中、クラブメンバー全員が原点に立ち返ることが可能であることや、さらに地区を越えた友好クラブがあること、アクティビティを通して国外からもご来賓がいらしていることについて「好ましい周年行事のあり方」とご賞賛頂きました。

8　実行委員長　石田弥Ｌから記念事業のご紹介を頂きました。２０周年記念アクティビティは、日本赤十字社への献血広報車１台寄贈、社会福祉法人福音寮への自動洗濯機２台とサポーター費の寄贈、難病チャリティーコンサートへの２０名参加、障害者施設見学ツアー開催、スリランカへの中古メガネ寄贈などの９事業にわたりました。

9　続いて行われましたアクティビティの贈呈式では、中古メガネがスリランカからお越しの３０６－Ｃ１地区２Ｒ１ＺＺＣデュミンダ・コタラワラＬに、全自動洗濯機他の目録が児童養護施設福音寮施設長　飯田政人様に、献血広報車の目録が日本赤十字社東京都赤十字血液センター血液一部部長　小泉善男様に手渡されました。さらに、中古メガネリサイクル関連で日頃より大変ご協力頂いているカブシキガイシャインターメスティックの取締役副社長　田口進様に感謝状が贈呈されました。

10　ここで記念講演として、女子プロゴルファーである東京ワンハンドレッドＬＣ中溝裕子Ｌからご講演を頂きました。中溝Ｌはプロテストに受かって、これからという時に骨髄異形成症候群という白血病の一種に罹患して妹さんから骨髄移植を受けたこと、血液型がＡＢ型からＢ型に変化したこと、しかし性格は変化しなかったこと、拒絶反応が生じて現在も涙が出ないことなどをお話しになりました。

11　特に、手術のあと口内粘膜に拒絶反応が生じ、固形物だけでなく水でさえ痛さで摂取できなくなり２年８カ月入院を余儀なくされたこと、３年間点滴の身となり体重が７０ｋｇから約３０ｋｇ減少したこと、手術後初めてお粥を食べられたとき母親と一緒に泣いて喜んだというエピソードをご紹介頂きました。お粥を食べて身体の中から熱くなり汗をかいた体験などを

通じて、食べられること、健康の大切さを痛感し、現在は子供たちを中心にこの体験を伝えることを継続しているとお話しされました。第二の人生として生かされた命の大切さ、普段気にしない健康の大切さを説かれていて、心打たれました。

12 三軒茶屋ＬＣという骨髄バンク啓発事業を行っているクラブで講演することができて嬉しいと話され、今後も骨髄バンクの啓発を継続していくと話されました。骨髄ドナー登録は１８歳から５４歳まで可能です。連絡先は０１２０－４４５－４４５とのことですので多くの方にご紹介頂ければ幸いです。

13 祝宴にうつりまして、第一副会長北見正雄Ｌから開会の辞を頂きました。

14 次に来賓祝辞としまして当クラブ会長Ｌ桂が挨拶いたしました。桂会長は親子クラブで合同アクティビティを開催できたことに触れ、今後も親子クラブとしてともに発展していきたいとご挨拶されました。

15 乾杯のご発声をお願いした、スリランカのデュミンダＬご夫妻からまずご挨拶を頂戴しました。ＺＣデュミンダ・コタラワラＬが英語でご挨拶されたのち、奥様のランガ・コタラワラＬが通訳され、２０周年のお祝いと中古メガネを大量に頂いて「コロンボから遠く離れた村の方にも分けることが出来て大変喜ばれた」とお話し頂きました。

16 ここで、３３５－Ｄ地区視力ファースト献眼推進委員長有野勇Ｌも壇上に上がり、スリランカからのお礼としての金獅子像が河合悦子ガバナーに贈呈されました。河合ガバナーからは返礼としてバナーとピンが贈呈されました。また、三軒茶屋ＬＣ会長川津Ｌと幹事五月女Ｌにも金獅子像が贈呈されました。さらに講演講師の中溝Ｌにもデュミンダ Ｌからバナーが贈られましたのち、乾杯のご発声をデュミンダＬから頂きました。

17 会食では参加者は銀座アスター三軒茶屋賓館の本格的中華料理を堪能しながら、随時席を移動したりして懇親を深めました。

18 しばしの歓談のあと、ライオンズロアとなりました。キャビネット幹事近藤正彦Ｌ、１０ＲＲＣ関真一郎Ｌと１０Ｒ３ＺＺＣ河津延樹Ｌの３名が演台に上がり、大声でライオンズロアを行いました。

19 閉会の辞を三軒茶屋ＬＣ第二副会長水谷Ｌから頂戴しました。「次の２５周年で皆様またお会いしましょう。皆様が元気で生きておられれば」とのご挨拶に会

場は爆笑となりました。

20 最後に全員で起立して大きな輪を作りまして、「また会う日まで」を歌いまして、無事お開きとなりました。三軒茶屋ＬＣの皆様、素晴らしい式典・祝宴を有り難うございました。

第１回指名委員会報告　　２月１０日　　於 三軒茶屋プリズム

出席者　桂会長、Ｌ阿部、Ｌ福島、Ｌ磯辺、Ｌ亀川、Ｌ小塚、Ｌ石田、Ｌ白石、
Ｌ吉崎、幹事進藤　　（計１０名）

1. ２月１０日（木）Ｌ進藤の職場でもある三軒茶屋プリズムにて第１回指名委員会が開催されました。
2. 来期だけでなくきたるべく５０周年にむけて３期計画で、会長幹事以下の主だった役員や理事について検討いたしました。
3. 現役として仕事を抱える多忙な若手の中でも話し合いを持って現実的に５役を考えて行きつつ、次回の指名委員会でも継続的に検討することになりました。

わんぱくクラブ育成会活動参加報告　２月８日９日　　於 わんぱくクラブ育成会本部

出席者　２月８日Ｌ阿部、Ｌ今尾、幹事進藤　２月９日Ｌ木下、幹事進藤　（計４名）

２月２６日にご協力させて頂くわんぱくクラブ育成会「２０歳を祝う会」に先駆けて、今期もわんぱくクラブ育成会の通常活動にクラブメンバーが体験参加しております。今期は２月８日と９日、さらに２月２４日を予定しております。２月８日に参加したＬ今尾より報告文を登稿して頂きました。

先日の障害者施設見学ツアーでは作業所にお邪魔して心身障害の方々の働く姿を拝見したのですが、本日のわんぱくクラブ育成会の活動と作業所との違いは大まかに言うと「働く施設」と「レクリエーションの施設」との違いだと伺い、なるほどと思いました。皆さんリラックスして笑顔が絶えないなごやかな雰囲気で、初めのうちはどうコミュニケーションを取ったら良いのかとまどっていた私に皆さんから話しかけてくれて、一緒に遊んでいるうちにあっという間に２時間が経ちました。とはいえ、それはあくまで２時間という限られた時間内のこと。一時的な病気や怪我とは違い、一生続くケア生活を送られている親御さんにとっては、仕事が終わって１９：００頃まで安心して預けられ、１日自由に使える日を確保できるというのはとても大切な場所だと感じました。

しかしながら作業所とは違い、行政の補助が受けられるのは家賃などほんの一部で、ほとんどの施設が民間の企業努力で成り立っていると伺い驚きました。しかもインカムになる要素が見あたらず、他の事業での収益から補填するなどして存続させているのが現状だそうです。

より多くの人にこうした施設の現状を知ってもらい、行政の補助や民間からの寄付を受けるチャンスを広げる活動も、ライオンズクラブならではのアクティビティとしてとても意義深いものだと感じました（Ｌ今尾）。

☆　Ｆｒｏｍ　ＭＥＭＢＥＲＳ　①

☆　２月２０日若手会員フォーラム参加報告　（Ｌ亀川）

さる２月２０日（木）、東京プリンスホテルにて３３０－Ａ・Ｂ・Ｃ地区共催３３０複合地区複合後援の若手会員フォーラムが開催されました。とはいえ３３０複合地区だけでなく、ウィン・クン・タム国際第一副会長を始め、不老安正・山浦晟暉両国際理事、ロビソス元国際理事、後藤隆一元国際理事、後藤忍ＧＭＴ東日本リーダー、３３７－Ａ地区吉田勲ガバナー等、地域を越えて多くのご来賓の方にお越し頂きました。メンバーも北は北海道、南は九州まで２００名以上参集したとのことです。当クラブからもＬ進藤、Ｌ須藤およびＬ亀川が参加してまいりました。

朝の１０時半から６時の懇親会までの間、身元を明かさず、お互いの名前はニックネームで呼び合うという非常にユニークで楽しい雰囲気の中で始まりました（ちなみに私はキャメ、Ｌ進藤はピカチュウ、Ｌ須藤は女スパイと思いきや、普通にＹＯＫＯでした）。

最初にタム国際第一副会長から来賓としてご挨拶を頂きました。タム国際第一副会長はライオンズの未来が次世代にかかっていると述べ、３０年前に３０歳のクラブで最年少のチャーターメンバーとして入会されたこと、高齢者を招いたクルージングでささやかな日用品をプレゼントした時涙をためて感謝の念を表現されて驚いたこと、その時会長から「何をあげたかではない、彼らが何を受け取ったかが重要である」との言葉を頂戴して感動し、奉仕する側も奉仕される側も両方が幸せになれるのがライオンズの美しさであると実感したとお話しされました。言語や習慣が違ってもウィサーブという一つの方向一つの目標に向かっていること、そしてコミュニケーションを大切にしてライオンズが世界で一番素晴らしい組織だと信じて行動を起こせば夢を現実にすることができると激励頂きました。

続いて不老国際理事からは１月２８日に福岡で開催された３３７－Ａ地区の新春フォーラムのご報告と３３７－Ａ地区で初めて常設委員会となった青年アカデミーについてご紹介がありました。山浦国際理事からはライオンズに温故知新が必要なこと、日本では５０歳代以下の世代の会員も女性会員も世界の半分の比率しかいないことに触れ、ご自身のテーマになぞらえて変化に挑戦していこうと話されました。

次に、２部屋を使って、１０名程度の１８グループに分かれてグループディスカッションを２回行いました。若手ライオンとして刺激的な活動をされていらっしゃる、３３

０－Ｂ地区山梨アカデミーＬＣ川手寅平Ｌ、３３４－Ｂ地区各務原クローバーＬＣ小野木巧Ｌ、３３７－Ａ地区福岡大名ＬＣ徳永修一郎Ｌがそれぞれのグループに先だってプレゼンテーターとしてご自分の活動について発表されました。私のグループのテーマは、１回目は「豊かなライオンズライフ」、２回目は「若いライオンにできること」でしたが、私は当クラブにおける前期のアクティビティ、チャリティーコンサートを例に挙げ、コンサートが成功した時のメンバーとの一体感、感動、子供達の喜んでいる顔を見た時の感動を伝えました。Ｌ須藤はグループの発表者として、Ｌ進藤はファシリテーターとしてそれぞれのグループで活躍していましたが、聞くところによると他のグループでは「ライオンズクラブが楽しくて仕方ない」という若手ライオンがいたり、逆に主体となる労力アクティビティがあまりみあたらないクラブもあったりと様々な立場から地域を越えて情報交換が行われ、大変な刺激となったようでした。

　その後再び一つの部屋に集合して、パネルディスカッションが始まりました。ロビソス元国際理事はタイでは４割が女性会員であるとご紹介頂き、後藤隆一元国際理事は女性の感性をライオンズが必要としていると話され、３３７－Ａ地区吉田勲ガバナーは新春フォーラムで６４０名動員できたのは若手と先輩たちの協力によると話され、後藤忍ＧＭＴ東日本リーダーからは今期はすでに１０００名の増員となっているとの話が紹介されました。そして再びタム第一国際副会長からご挨拶いただいたのですが、その中で、３０歳で入会、３４歳で会長、３５歳でゾーンチェアパーソン、４０歳でガバナー、４２歳で国際理事、６０歳で第一国際副会長になられたとの話に、すかさずＬ進藤が素朴な質問として「入会されてからとんとん拍子で国際理事にまでなられたのに、なぜ第一国際副会長になるまで時間が掛ったのですか？」と発言、この質問には、タム国際第一副会長も顔を和らげ、その経緯を説明されました。奥様の看病から看取るまでの家族愛あふれるお話に、「ライオンズメンバーは皆ファミリーである」とのタム国際第一副会長のメッセージとすっと繋がるものを感じました。

　その後、懇親会には３名で出席し、ライオンスピリットのご披露などを楽しみました。さらに２次会にもＬ進藤と私で参加して参りました。２次会は、３３０－Ｃ地区大野元裕ガバナーを筆頭に、今回の若手会員フォーラムを主催された方々、ライオンネットの方々と懇親を行い、大変楽しいひと時を過ごす事ができました。

　私は正直申しまして最初は恐る恐るの参加でしたが、他の地区の方々との意見交換もでき、非常に有意義な１日となった事を、ここにご報告致します。

☆　From　MEMBERS　②

☆　２月１９日ライオンネット横浜交流会参加報告　　（Ｌ山本）

２月１９日、横浜中華街『華勝楼』にて、「ライオンネット」交流会が開催されＬ進藤とＬ山本が参加致しました。ライオンネットとはインターネット上で自由に情報交換ができるライオンズメンバー限定の招待制ホームページですが、全国約６００名のメンバーが活発に交流しています。第１回交流会は昨年福岡にて開催され、今回は翌日の若手会員フォーラム開催に合わせて設営されました。

３３０－Ｃ川越初雁ＬＣ八木拓也Ｌの司会で会は進行し、主催者３３０－Ｂ横浜みなとマリンＬＣ小柴登司Ｌのご挨拶のあと、新婚旅行の帰路に駆け付けられた３３７－Ａ北九州小倉ＬＣ大谷竜也Ｌご夫妻のウィサーブで会食がスタートしました。

２２０店舗を越える横浜中華街の中でも唯一全室個室利用が可能で、北京料理主体で蘇州料理の特徴を加味したという上品な味付けの料理や、特別に用意して頂いた甕入り紹興酒を堪能しながら、和やかに名刺交換・情報交換等が行われました。人心地ついたところで全員が一言ずつ自己紹介をする中、３３３－Ｃ野田ＬＣ高木次雄Ｌとお弟子さんのセルビア人のミラン様がお越しになり、国際色豊かな会となりました。

その後、３３６－Ａ今治東ＬＣ井出幸彦Ｌ率いるライオンズヒムダンスになんと当クラブＬ進藤もピカチュウの着ぐるみで参加して会を盛り上げていて驚きました。また、高木次雄Ｌの描いた絵画や３３４－Ｂ土岐織部ＬＣ加藤万寿夫Ｌのうなぎパイなどのお土産、３３３－Ａ長岡ＬＣ丸山隆Ｌの「朝日山」や「久保田」などの日本酒、３３３－Ｃ松戸ユーカリＬＣ高橋昌男Ｌの美味しいイチゴなどを景品としたじゃんけんゲームやオークションが催され、会場は大いに沸きました。また、３３６－Ａ高知桜ＬＣ二宮邦江Ｌ指導のもと、全員でライオンスピリットのダンスを踊り、会場は一体感に包まれました。

会終盤には、３３７－Ａ徳永修一郎Ｌ、大西宏治Ｌと共に３３０－Ｃ大野元裕ガバナーが駈けつけられ、翌日の若手会員フォーラムへの期待も含めてご挨拶を頂き、地区を越えた有意義な交流会はお開きとなりました。

さて、自クラブでの円滑な交流は大切ですが、多くのメンバーはクラブ内の交流に終始しがちであり、ライオンズクラブはグローバルなネットワークを有する組織でありながら、その魅力を実感できる機会は意外にも少ないのではないでしょうか？また、もし入会間もない段階でライオンズでの交流に喜びを見

いだせたとしたら、退会メンバーは減少するでしょうし、喜びは口コミとなって会員増強に繋がるものと私は確信しています。

その意味で、インターネットを介して自分の好きな場所から気軽に発言でき、しかもライオンズクラブメンバーだけの安全なコミュニティである「ライオンネット」にご登録頂きまして、全国のメンバーとリラックスした交流を楽しんで頂きたいと思います。尚、ライオンネットは紹介制ですのでご登録されたい場合はＬ進藤またはＬ山本までお気軽にお知らせ下さいませ。

■ 行事予定

２月２６日（土）	10：00～	わんぱくクラブ育成会「20 歳を祝う会」	於：わんぱくｸﾗﾌﾞ駒沢
３月　５日（土）	9：30～	東京世田谷ＬＣカップ／少年サッカー教室	於：駒沢第二球技場
３月１１日（金）	18：00～	難病支援フォーラム＆チャリティーコンサート	於：東京芸術劇場
３月２３日（水）	18：30～	３月第二例会（講師例会）	於：目黒雅叙園

■ 幹事　進藤より一言

２月は東京にも何回か雪が降り積もり、久しぶりの大雪を体感致しました。今期第１５号のクラブニュースをお届けします。

２月１０日の東京三軒茶屋ＬＣのＣＮ２０記念例会では国際色豊かであり、かつアットホームで有意義なひと時を過ごすことが出来、温かな気持ちとなりました。

また、２月１９日にライオンネット交流会、２月２０日に３３０－ＡＢＣ地区共催若手会員フォーラムが開催されそれぞれ参加してまいりまして、地域を越えた交流に刺激を受けるとともにライオンズクラブの素晴らしさを改めて実感することが出来ました。それぞれＬ山本、Ｌ亀川にご報告頂いておりますので、よろしければ是非ご覧くださいますようお願い申し上げます。

さて、２月２６日はわんぱくクラブ育成会「２０歳を祝う会」、３月５日は第９回東京世田谷ライオンズクラブカップ／少年サッカー教室とアクティビティが目白押しです。多くの方にご参加頂きたく、ご案内申し上げます。